

(様式第9)

宮大医医第 188 号
平成21年10月 1日

厚生労働大臣

宮崎大学医学部附属病院長
高崎 眞

宮崎大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	113	人
--------	-----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	184人	155人	294.7人	看護業務補助	12人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	6人	10.0人	理学療法士	6人	臨床検査技師	28人
薬剤師	27人	0人	21.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	19人	0人	0.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	452人	80人	519.6人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	0人	2人	1.5人	栄養士	0人	その他の技術員	31人
歯科衛生士	1人	2人	2.7人	歯科技工士	1人	事務職員	84人
管理栄養士	4人	2人	6.0人	診療放射線技師	24人	その他の職員	9人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	528.3 人	13.5 人	541.8 人
1日当たり平均外来患者数	739.1 人	35.7 人	774.8 人
1日当たり平均調剤数		700.2 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	35人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(ステーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膝管内腫瘍その他の膝良性腫瘍に係る膝体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	10人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	67人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	44人
・多発性硬化症	26人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	64人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28人
・全身性エリテマトーデス	230人	・多系統萎縮症	22人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	14人	・膿疱性乾癬	12人
・サルコイドーシス	67人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	143人	・重症急性膵炎	9人
・特発性血小板減少性紫斑病	25人	・特発性大腿骨頭壊死症	69人
・結節性動脈周囲炎	29人	・混合性結合組織病	37人
・潰瘍性大腸炎	197人	・原発性免疫不全症候群	7人
・大動脈炎症候群	22人	・特発性間質性肺炎	23人
・ビュルガー病	10人	・網膜色素変性症	33人
・天疱瘡	20人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	26人	・原発性肺高血圧症	8人
・クローン病	157人	・神経線維腫症	20人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	4人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	101人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	14人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	92人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回以上		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	20 例	剖検率 17.1 %

高度医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒト褐色細胞組織に存在する新規生理活性ペプチドの系統的探索	北村和雄	第一内科	4,940,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
アドレノメデュリンを利用した炎症性腸疾患治療薬開発のための基盤研究	芦塚伸也	第一内科	2,210,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
腹部大動脈瘤の形成におけるマスト細胞の関与	鶴田敏博	第一内科	1,820,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
循環器系シグナローム解析による疾患・病態解明のための基盤研究	北村和雄	第一内科	2,000,000	補 委	循環器病委託研究
真性多血症、本態性血小板増多症発症メカニズムの解明	下田和哉	第二内科	1,820,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
Siva-1を介するリンパ球のアポトーシス誘導機構の解明	下田晴子	第二内科	2,210,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
原発性骨髄線維症の分子機構解明と新規治療標的分子の同定	幣光太郎	第二内科	1,742,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
幹細胞組織別技術による生体内肺癌発症監視期呼応とAkt/HIF1標的新規治療の研究(文部科学省科学研究費 特定領域研究)	中里雅光	第三内科	7,000,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
慢性呼吸器疾患におけるグレリンの病態意義の解明と臨床応用を目指した橋渡し研究(文部科学省科学研究費 萌芽研究)	中里雅光	第三内科	1,600,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
摂食調節に機能する新規ペプチドの同定と機能解析(文部科学省科学研究費 基盤研究(B) 継続)	中里雅光	第三内科	5,590,000	補 委	科学研究費補助金 (文部科学省)
慢性呼吸不全に対するグレリンの臨床応用研究(主任研究者厚生労働科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業)(中里班)	中里雅光	第三内科	45,312,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究(厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業)(寒川班)	中里雅光	第三内科	2,000,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
アミロイドーシスに関する調査研究(厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業)(山田班)	中里雅光	第三内科	1,200,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発(厚生労働科学研究費補助金 精神・神経疾患研究委託費)(有村班)	中里雅光	第三内科	550,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金

小計14

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規視床下部ペプチドの発見と機能解析 (文部科学省科学研究費 基盤研究 (C))	山口秀樹	第三内科	1,820,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
呼吸器感染症におけるデフェンシンの機能解析と臨床応用 (文部科学省科学研究費 基盤研究 (C) 継続)	芦谷淳一	第三内科	1,820,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
新規ペプチド オベスタチンおよびグレリンの肥満に対する病態生理学的意義の解明 (文部科学省科学研究費 基盤研究 (C) 継続)	上野浩晶	第三内科	1,820,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
肺上皮特異的Pten欠損マウスを用いた肺線維症病態解析と新規分子標的治療の検討 (文部科学省科学研究費 若手研究 (B))	柳 重久	第三内科	2,470,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
グレリンのエネルギー同化作用による骨格筋代謝機能改善の可能性に関する研究 (文部科学省科学研究費 基盤研究 (C))	十枝内厚次	第三内科	2,730,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
注射にかわる経鼻投与デバイスを用いたペプチド医薬品の経鼻製剤化の開発	中里雅光	第三内科	30,000,000	補 委 JST育成研究
ATL発症高危険群の長期追跡と発病予防の検討	岡山昭彦	膠原病・感染症内科	1,000,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
本邦におけるHTLV-1感染及び関連疾患の実態調査と総合対策	岡山昭彦	膠原病・感染症内科	1,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
食の機能を中心としたがん予防基盤技術の創出	岡山昭彦	膠原病・感染症内科	1,500,000	補 委 科学技術振興機構 (JST)
発症危険度判別によるATL発症リスク診断システムの開発	岡山昭彦	膠原病・感染症内科	2,000,000	補 委 科学技術振興機構 (JST)
膠原病における新規疾患特異的マーカーの検索	高城一郎	膠原病・感染症内科	1,300,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
HTLV-1感染関連分子とATL発症危険群の同定	野村 創	免疫感染病態学	2,340,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
L-DOPA慢性投与に伴う脳内転写調節因子発現に関する神経薬理学的研究	石田 康	精神科	2,340,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
てんかんの海馬興奮系増強効果を支えるレドックス制御分子群の網羅的発現・機能解析	植田勇人	精神科	1,560,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)

小計14

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
シスチン・グルタミン酸交互輸送体機能障害による海馬酸化ストレス増強機序の解明	土井 拓	精神科	1,690,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
脳内神経変性疾患に対する再生医療・遺伝子治療効果判定に有用な放射性診断薬の開発	石田 康	精神科	910,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
スポーツ外傷、傷害の病態解明—スポーツメディカルサポートシステムの構築—	帖佐悦男	整形外科	153,784,000	補 委 文部科学省 特別教育研究費
高悪性度骨軟部肉腫に対するカフェイン併用化学療法の臨床使用確認試験	帖佐悦男	整形外科	100,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
前立腺癌と尿路上皮癌に関する遺伝子・環境相互作用の研究	月野浩昌	泌尿器科	2,470,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
網膜変性疾患の分子生物学的並びに電気生理学的研究	直井信久	眼科	2,730,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
胎内サイトメガロウイルス感染症のハイリスク群抽出法と児の予後に関する研究 (科学研究費補助金・基盤研究(C))	金子政時	総合周産期 母子医療センター	2,210,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
胎児脳機能リズム形成と神経学的発達との関連について (科学研究費補助金・基盤研究(C))	池ノ上 克	産婦人科	1,950,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究 (科学研究費補助金)	池ノ上 克	産婦人科	1,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
救急部門と周産期部門との連携強化に資する具体的手法に関する研究 (科学研究費補助金)	池ノ上 克	産婦人科	1,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
助産師と産科医の協働の推進に関する研究 (科学研究費補助金)	池ノ上 克	産婦人科	8,550,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
神経学的後遺症に関するpopulation-based研究と、治療法の開発と、人材育成のプログラムの構築 (おぎゃー献金補助金)	池ノ上 克	産婦人科	2,000,000	補 委 財団法人日母おぎゃー献金基金
経皮的血管形成術後の血栓閉塞に対する局所遺伝子導入の検討	田村正三	放射線科	1,690,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)
若年喫煙習慣者の禁煙治療前後における脳血流・代謝変化についての研究	長町茂樹	放射線科	3,380,000	補 委 科学研究費補助金 (文部科学省)

小計14

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
経皮的肺ラジオ波凝固療法後の治療効果判定に関する基礎的研究	中田 博	放射線科	1,300,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)
深部静脈血栓症予防に対する局所遺伝子導入の検討	古小路英二	放射線科	1,950,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)
局所麻酔薬中毒による痙攣に関する研究	鬼塚 信	麻酔科	1,560,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)
麻酔薬のオレキシン放出に及ぼす影響	白阪哲朗	麻酔科	2,080,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)
Aeromonas属細菌の産生するヒアルロニダーゼ遺伝子の同定と重症化機序の解明	松岡博史	ICU	2,600,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)
リドカインの腫瘍細胞致死機構の解明	川崎祐子	麻酔科	3,120,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)
麻酔薬の内因性睡眠経路に及ぼす影響	与那覇 哲	麻酔科	2,210,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)
癌幹細胞分化誘導システムを利用した乏突起膠腫の新規分子マーカーの探索	竹島秀雄	脳神経外科	10,270,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)
悪性脳腫瘍に対する癌幹細胞を用いたオーダーメイド治療の開発	竹島秀雄	脳神経外科	1,700,000	①補委 宮崎大学(戦略重点経費)
中枢性悪性神経膠細胞腫におけるがん幹細胞マーカーの発現とその臨床学的意義の検討	上原久生	脳神経外科	1,000,000	①補委 財団法人潤和リハビリテーション振興財団
HTLV-1感染モデルマウスにおける感染細胞増殖に関わる因子の同定	梅木一美	検査部	540,000	①補委 科学研究費補助金 (文部科学省)

合計53

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Hormone and Metabolic Research	Reciprocal production of adiponectin and C-reactive protein in coronary circulation of patients with and without coronary artery disease.	Kawagoe J	第一内科
The Open Hypertension Journal	Long-term therapy with nifedine-CR improves arterio-sclerosis related markers in patients with untreated essential hypertension.	Kita T	第一内科
Clinical Journal of the American Society of Nephrology	Effect of tonsillectomy plus steroid pulse therapy on clinical remission of IgA nephropathy: a controlled study.	Komatsu H	第一内科
Biochemical and Biophysical Research Communications	Functions of the extracellular histidine residues of receptor activity-modifying proteins vary within adrenomedullin receptors.	Kuwasako K	第一内科
Japanese Journal of Clinical Oncology	Irinotecan plus cisplatin therapy and S-1 plus cisplatin therapy for advanced or recurrent gastric cancer in a single institution.	Nakashima K	第一内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis	Radial augmentation index is related to cardiovascular risk in hemodialysis patients.	Nishiura R	第一内科
Atherosclerosis	Thioredoxin in coronary culprit lesions: Possible relationship to oxidative stress and intraplaque hemorrhage.	Nishihira K	第一内科
Journal of Thrombosis and Haemostasis	Serotonin induces vasoconstriction of smooth muscle cell-rich neointima through 5-hydroxytryptamine _{2A} receptor in rabbit femoral arteries.	Nishihira K	第一内科
Circulation Research	Adventitial mast cells contribute to pathogenesis in the progression of abdominal aortic aneurysm.	Tsuruda T	第一内科

小計 9

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Blood	Down-regulation of TCF8 is involved in the leukemogenesis of adult T-cell leukemia/lymphoma.	Hidaka T	第二内科
Journal of Gastroenterology	Endoscopic characterization of the small bowel in patients with portal hypertension evaluated by double balloon endoscopy.	Kodama M	第二内科
Diseases of the Colon Rectum	Therapeutic efficacy of infliximab on patients with short duration of Crohn's disease: a Japanese multicenter survey.	Matsumoto T	第二内科
American Journal of Gastroenterology	Oral spherical adsorptive carbon for the treatment of intractable anal fistulas in Crohn's disease: a multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Fukuda Y	第二内科
Journal of Gastroenterology	Association of a genetic polymorphism in ectonucleotide pyrophosphatase/phosphodiesterase 1 with hepatitis C virus infection and hepatitis C virus core antigen levels in subjects in a hyperendemic area of Japan.	Takahama Y	第二内科
Journal of Immunology	Tyk2-signaling plays an important role in host defense against Escherichia coli through IL-23-induced IL-17 production by gammadelta T cells.	Nakamura R	第二内科
Diabetes Obesity and Metabolism	Pioglitazone attenuates fatty acid-induced oxidative stress and apoptosis in pancreatic beta-cells.	Saitoh Y	第三内科
Pulmonary Pharmacology & Therapeutics	Ghrelin treatment suppresses neutrophil-dominant inflammation in airways of patients with chronic respiratory infection.	Kodama T	第三内科
Journal of Infect Chemother	An outbreak of Legionnaires' disease associated with a circulating bathwater system at a public bathhouse. II: radiological findings of pneumonia.	Matsumoto N	第三内科

小計 9

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Science	Regulation of pancreatic β cell mass by neuronal signals from the liver.	Nakazato M	第三内科
Journal of Endocrinology	Characterization of obestatin in rat and human stomach and plasma, and its lack of acute effect on feeding behavior in rodents.	Toshinai K	第三内科
Neuroscience Research	Distribution of orexins-containing fibers and contents of orexins in the rat olfactory bulb.	Nakazato M	第三内科
Annals of Nuclear Medicine	Usefulness of rCBF analysis in diagnosing Parkinson's disease: supplemental role with MIBG myocardial scintigraphy.	Nakazato M	第三内科
日本呼吸器学会雑誌	健康診断におけるCOPD質問票の有用性の検討.	有村保次	第三内科
糖尿病	遠隔移転なく術後良好な経過を示した胃癌由来 IGF-II による低血糖症の1例.	山口秀樹	第三内科
糖尿病	糖尿病 IIIa型に慢性膵炎を合併し糖尿病を生じた一例.	齋藤幸枝	第三内科
日本呼吸器学会雑誌	重症肺炎を契機に発見された多発肺動脈静脈瘻の1例.	京楽由佳	第三内科
日本呼吸器学会雑誌	甲状腺中毒症で発見された肺癌の1例.	芦谷淳一	第三内科

小計 9

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Infection and Chemotherapy	An outbreak of Legionnaires' disease associated with a circulating bathwater system at a public bathhouse. I: a clinical analysis.	Sasaki T	膠原病・感染症内科
Journal of Infection and Chemotherapy	An outbreak of Legionnaires' disease associated with a circulating bathwater system at a public bathhouse. II: radiological findings of pneumonia.	Matsumoto N	膠原病・感染症内科
Blood	Down-regulation of TCF8 is involved in the leukemogenesis of adult T-cell leukemia/lymphoma:	Hidaka T	膠原病・感染症内科
アレルギー	喘息コントロールテストの問題点と外来ピークフロー測定併用による改善.	上野史朗	膠原病・感染症内科
Cancer Letters	Activation of complement system in adult T-cell leukemia (ATL) occurs mainly through lectin pathway: A serum proteomic approach using mass spectrometry. :	Ishida Y	膠原病・感染症内科
Journal of Gastroenterology	Association of a genetic polymorphism in ectonucleotide pyrophosphatase/phosphodiesterase 1 with hepatitis C virus infection and hepatitis C virus core antigen levels in subjects in a hyperendemic area of Japan. :	Takahama Y	膠原病・感染症内科
International Journal of Cancer	Population differences in immune marker profiles associated with human T-lymphotropic virus type I infection in Japan and Jamaica:	Birmann BM	膠原病・感染症内科
Synapse	Differential expression of Fos and Zif268 in the nigrostriatal system after methamphetamine administration in a rat model of Parkinson's disease.	Ishida Y	精神科
Behavioural Brain Research	Functional difference between rat perirhinal cortex and hippocampus in object and place discrimination tasks.	Abe H	精神科

小計 9

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神医学	統合失調症に伴う強迫症状に対して抗精神病薬とSSRIを併用し、約2年間経過した2症例.	長友慶子	精神科
精神科	執拗な身体的愁訴を伴ったうつ病エピソードにセルトラリンが著効した高齢者の4症例.	船橋英樹	精神科
Brain & Development	Segawa disease with a novel heterozygous mutation in exon 5 of the GCH-1 gene (E183K).	Ikeda T	小児科
International Journal of Hematology	Hazards of early BCG vaccination: BCGitis in a patient with chronic granulomatous disease.	Nunoi H	小児科
Internal Medicine	Adult Onset X-Linked Chronic Granulomatous Disease in a Woman Patient Caused by a de novo Mutation in Paternal-Origin CYBB Gene and Skewed Inactivation of Normal Maternal X Chromosome	Nunoi H	小児科
Genes to Cells	Cell adhesion markedly increases lucigenin-enhanced chemiluminescence of the phagocyte NADPH oxidase.	Nunoi H	小児科
Hepatogastroenterology	Comparative effect of lymph node metastasis classified by the anatomical site or by the number of nodes involved on prognosis of patients with gastric cancer.	Hidaka H	第一外科
Hepatogastroenterology	Late recurrence of malignant melanoma in the duodenum.	Uchiyama S	第一外科
Hepatogastroenterology	Medical students' attitudes to laparoscopic surgery.	Hotokezaka M	第一外科

小計 9

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatogastroenterology	Video monitoring and slide and video presentations as tools for surgical education.	Hotokezaka M	第一外科
Journal of Hepatobiliary Pancreatic Surgery	Prospective randomized controlled study of gastric emptying assessed by (13)C-acetate breath test after pylorus-preserving pancreaticoduodenectomy: comparison between antecolic and vertical retrocolic duodenojejunostomy.	Chijiwa K	第一外科
Journal of Gastrointestinal Surgery	Clinicopathologic characteristics of hepatocellular carcinoma with bile duct invasion.	Ikenaga N	第一外科
Surgery Today	Factors influencing outcome after surgery for stage IV colorectal cancer.	Hotokezaka M	第一外科
Hepatogastroenterology	Circular tumor growth: a prognostic factor in stage II colorectal carcinoma.	Jimi S	第一外科
Hepatogastroenterology	Multiseptate gallbladder: report of a case.	Yamasaki A	第一外科
Journal of Gastrointestinal Surgery	Outcome of surgical treatment of hilar cholangiocarcinoma.	Otani K	第一外科
Journal of Gastrointestinal Surgery	Intrapancreatic accessory spleen mimicking endocrine tumor of the pancreas: case report and review of the literature.	Uchiyama S	第一外科
Journal of Gastrointestinal Surgery	Adenoma of the major duodenal papilla with intraductal extension into the lower common bile duct.	Uchiyama S	第一外科

小計 9

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
胆道	十二指腸乳頭部癌切除例の臨床病理学的検討.	長池幸樹	第一外科
日本消化器外科学会雑誌	肝癌を含む同時性4重複癌切除の1例.	前原直樹	第一外科
日本消化器外科学会雑誌	胃顆粒細胞腫の2切除例.	佐野浩一郎	第一外科
日本消化器外科学会雑誌	外傷性肝細胞癌破裂に対し肝動脈塞栓術を施行後切除した1例.	新名一郎	第一外科
日本腹部救急医学会雑誌	大腸憩室からの大量出血に対して、動脈塞栓術後早期に結腸右半切除術を行った1例.	新名一郎	第一外科
日本消化器外科学会雑誌	切除・非切除腺癌に対するGemcitabineを中心とした化学療法の有効性.	大内田次郎	第一外科
The American Journal of Pathology	Defect of Hepatocyte Growth Factor Activator Inhibitor Type 1/Serine Protease Inhibitor, Kunitz Type 1 (HAI-1/Spint1) Leads to Ichthyosis-Like Condition and Abnormal Hair Development in Mice.	Nagaike K	第一外科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Induction of apoptosis by intrapleural perfusion hyperthermo-chemotherapy for malignant pleural mesothelioma.	Matsuzaki Y	第二外科
Thoracic Cardiovascular Surgery	Squamous cell carcinoma of the hilar lymph node with unknown primary tumor: a case report.	Tomita M	第二外科

小計 9

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
関節鏡	手術適応別の鏡視下腱板修復術の成績.	石田康行	整形外科
日本側彎症学会誌	特発性側彎症患者における装具装着状況の検討.	黒木浩史	整形外科
日本臨床スポーツ医学会誌	九州地方にて開催されたラグビー競技会に対する安全度評価.	田島卓也	整形外科
日本整形外科学会雑誌	地方におけるこれからの整形外科医療.	帖佐悦男	整形外科
日本臨床バイオメカニクス学会誌	有限要素法による寛骨臼関節唇の力学的検討.	鳥取部光司	整形外科
Hip Joint	臼蓋形成不全症におけるSNP解析.	関本朝久	整形外科
Hip Joint	皮切にこだわらないMIS人工股関節置換術.	帖佐悦男	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌	安全かつ簡便な頸椎椎弓根スクリューの刺入手技.	久保紳一郎	整形外科
整形外科	棘窩切痕部ガングリオンに対する肩峰下滑液包からの鏡視下除圧術.	石田康行	整形外科

小計 9

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
整形外科と災害外科	当科における中高年女性に対する膝前十字靭帯再建術の治療成績.	山口志保子	整形外科
Skin Cancer	再発症類表皮嚢腫として治療された経過中に扁平上皮癌を続発した1例.	加嶋 亜紀	皮膚科
The Journal of Dermatology	New entity, definition and diagnostic criteria of cutaneous adult T-cell leukemia/lymphoma: Human T-lymphotropic virus type 1 proviral DNA load can distinguish between cutaneous and smoldering types.	Amano M	皮膚科
Sexually Transmitted Infections	Prevalence of Mycoplasma genitalium among female students in vocational schools in Japan.	Tsukino H	泌尿器科
臨床眼科	近視性脈絡膜新生血管に対する光線力学療法とベパシズマブ硝子体注入の比較.	中馬智巳	眼科
Invest Ophthalmol Visual Science	Allelic copy number variation in FSCN2 detected using allele-specific genotyping and multiplex real-time PCRs.	Nao-i N	眼科
Retina	Macular hole formation in patients with retinitis pigmentosa and prognosis of pars plana vitrectomy.	Nao-i N	眼科
Neuropharmacology	Proteasomal degradation of IRS-2, but not IRS-1 by calcineurin inhibition: attenuation of insulin-like growth factor-I-induced GSK-3beta and ERK pathways in adrenal chromaffin cells.	Satoh S	耳鼻咽喉科
Annals of Otolaryngology & Rhinology & Laryngology	Interleukin-10 is an essential modulator of mucoid metaplasia in a mouse otitis media model.	Tsuchiya K	耳鼻咽喉科

小計 9

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Mediterranean Journal of Otology	Value of Non Echo-Planar Diffusion-Weighted Magnetic Resonance Imaging in the Detection of Middle Ear Cholesteatoma.	Nagai N	耳鼻咽喉科
Audiology Japan	急性感音難聴を呈し内耳出血が示唆された2症例.	永野由起	耳鼻咽喉科
Reproductive Science	Clinical Application of Pulse Transit Time and Correlation With Intrapartum Fetal Heart Rate Monitoring : A Preliminary Study of 18 Full-Term Infants.	Kawagoe Y	産婦人科
救急医学	心肺停止症例の死因検索におけるCTの有用性.	杉村宏	放射線科
Nuclear Medicine Communications	Effect of percutaneous endoscopic gastrostomy on gastrointestinal motility:evaluation by gastric-emptying scintigraphy.	Wakamatsu H	放射線科
Annals of Nuclear Medicine	Usefulness of rCBF analysis in diagnosing Parkinson's disease:supplemental role with MIBG myocardial scintigraphy.	Nagamachi S	放射線科
臨床放射線	FDG-PETの腫瘍診断における metabolic volume の有効性.	清原省吾	放射線科
Anesthesia and Analgesia	Lidocaine increases intracellular sodium concentration through a Na ⁺ -H ⁺ exchanger in an identified Lymnaea neuron.	Onizuka S	麻酔科
Anesthesia and Analgesia	The effect of lidocaine on cholinergic neurotransmission in an identified reconstructed synapse.	Onizuka S	麻酔科

小計 9

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Neurochemistry	Lysophosphatidic acid-LPA1 receptor-Rho-Rho kinase-induced up-regulation of NaV1.7 sodium channel mRNA and protein in adrenal chromaffin cells: enhancement of $^{22}\text{Na}^+$ influx, $^{45}\text{Ca}^{2+}$ influx and catecholamine secretion.	Maruta T	麻酔科
Journal of Anesthesia	A short-acting beta-blocker, landiolol, attenuates systolic anterior motion of the mitral valve after mitral valve annuloplasty.	Tsuneyoshi I	麻酔科
Journal of Anesthesia	The effect of amino-acid infusion during off-pump coronary arterial bypass surgery on thermogenic and hormonal regulation.	Tsuneyoshi I	麻酔科
Japanese Journal of Neurosurgery	メッケル腔腫瘍 脳腫瘍の画像と病理.	竹島秀雄	脳神経外科
Hospital Dentistry and Oral-Maxillofacial Surgery	唾液腺腫瘍の臨床的検討.	吉田真穂	歯科口腔外科
Third International Conference on Knowledge Information and Creativity Support Systems	Support Methodology for Building Ontologies Based on the Externalization of Stakeholders' Viewpoints: A Case Study of a Clinical Pathway Ontology, Third International Conference on Knowledge Information and Creativity Support Systems.	Araki K	医療情報部
信学技報	マイニング技法を活用した電子カルテ (IZANAMI) のネットワーク可視化.	荒木賢二	医療情報部
Arthritis Research and Therapy	Therapeutic efficacy of intra-articular adrenomedullin injection in antigen-induced arthritis in rabbits.	Marutsuka K	病理部

小計 8

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of the American Medical Association	Low-dose aspirin for primary prevention of atherosclerotic events in patients with type 2 diabetes: a randomized controlled trial.	Marutsuka K	病理部
Journal of Hepato-Biliary Pancreatic Surgery	Two-stage operation for hepatocellular carcinoma with synchronous bilateral adrenal gland metastasis.	Marutsuka K	病理部
Hepato-Gastroenterology	Late recurrence of malignant melanoma in the duodenum.	Marutsuka K	病理部
診断病理	Mixed epithelial and stromal tumor of the kidney.	丸塚浩助	病理部
Journal of Applied Toxicology	Inhibition of carrier-mediated uptake of epirubicin reduces cytotoxicity in primary culture of rat hepatocytes.	Arimori K.	薬剤部
医療薬学	総合的な同等性評価が問われる後発医薬品－塩酸ベニジピン錠の剤形変更時の特性および情報提供の比較－。	有森和彦	薬剤部

合計104

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 高崎真弓
管理担当者氏名	放射線部長 田村正三、 薬剤部長 有森和彦、 総務課長 原田隆治

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科	<ul style="list-style-type: none"> カルテは外来、入院別に1患者1ファイル方式のID番号順で分類 エックス線写真は1患者1ファイル方式のID番号順で分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	なし	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 高崎 眞弓
閲覧担当者氏名	総務課長 原田 隆治
閲覧の求めに応じる場所	第三会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	79.5%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	8,085	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	4,834	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	702	人
	D: 初診の患者の数	12,096	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (6) 名・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 宮崎大学医学部附属病院医療安全管理委員会 (以下「委員会」という) の運営に関する事。2. インシデント及び医療事故の原因究明状況の確認及び指導に関する事。3. インシデント及び医療事故に関する診療録、看護記録等への記載内容の確認及び指導に関する事。4. インシデント及び医療事故の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導に関する事。5. 患者からの医療に係る相談に関する事。6. インシデント及び医療事故の調査及び分析に関する事。7. 医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関する事。8. 医療安全のための教育・研修に関する事。9. 医療事故防止対策マニュアルに関する事。10. 委員会での決定事項の実施状況調査及び見直しに関する事。11. 医療安全のための啓発、勧告、改善命令に関する事。12. その他医療事故防止及び医療の安全管理に関する事。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医療に係る安全管理の基本的考え方2. 医療に係る安全管理体制3. 職員研修4. 事故報告等の医療安全確保を目的とした改善報告5. 医療上の事故発生時の対応6. マニュアルの作成7. 患者等との情報の共有8. 患者からの相談への対応9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医療事故防止のための具体的措置に関する事。2. 医療事故防止対策マニュアルに関する事。3. 医療安全に係る職員の教育及び研修に関する事。	

4. 医療事故発生時の原因究明、改善策の立案・実施及び職員への周知に関する事。
5. 改善策の実施状況調査及び見直しに関する事。
6. 医療事故発生時の家族や患者への対応状況に関する事。
7. インシデントレポート及び事故報告書の分析に関する事。
8. 医療安全管理部の業務に関する事。
9. 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に関する事。
10. 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に関する事。
11. その他医療事故等及び医療訴訟に関する事

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年56回

・ 研修の主な内容：

1. 新規採用者オリエンテーション（研修医・看護師・コメディカル等）：安全管理体制について（1回）
2. 医療事故防止のための基礎技術（新規・中途採用看護師）：基礎技術演習（2回）
3. 新任リスクマネージャー研修：リスク管理の基本等（6回）
4. 新規採用者・中途採用者研修：リスク管理の基本等（7回）
5. 全職員研修会（ビデオによる講習会含む）：
患者の視点から医療安全を考える、モニターアラームと安全管理等（12回）
6. 各部署との勉強会：部署毎の事例・問題に対する講義、意見交換等（28回）

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. リスクマネージャー会での事例報告及び周知
 2. 作業標準の作成
 3. 医療事故防止対策マニュアルの作成・見直し
 4. 院内ラウンド
 5. 各部署毎の医療安全に関する改善目標と改善結果の報告
 6. 事例検証会、医療安全管理委員会での対策の検討、事例報告等

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>4月 新入局員オリエンテーション開催 医薬品安全管理について 5月 医療安全講演会開催 院内感染における抗菌薬の適正使用について 9月 医療安全講演会開催 院内感染における抗菌薬の適正使用について 12月 看護技術静脈注射研修 静脈注射の薬理について</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>1)業務手順書に基づいて業務が実施されているかチェック表を用いて確認した。 2)医薬品安全管理上注意すべき情報提供を全職員に対して随時行った。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1)業務手順書は作成後、各部門へ1部ずつ配布した。また、手順書の周知を徹底するために、院内コンピュータネットワークの「First Class」及び電子カルテの「カムナビ」に掲載し、全職員が閲覧できるようにした。 2)業務手順書を現場の実情にあうように改訂した。 3)ハイリスク薬を手順書に追加した。 4)高齢者に注意すべき医薬品の情報提供を行った。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年一回 適宜
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>人工心肺装置及び補助循環装置 機器の取扱説明、心筋保護法説明</p> <p>人工呼吸器 機器の取扱説明</p> <p>血液浄化装置 機器の取扱説明、血漿交換療法、透析技術・トラブルについて</p> <p>除細動器 機器の取扱説明、機器点検に関して</p> <p>閉鎖式保育器 機器の取扱説明、機器点検に関して</p> <p>診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等） 機器に関する品質管理・精度管理、診療報酬改定等に関する機器管理対応</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>人工心肺装置及び補助循環装置 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>人工呼吸器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>血液浄化装置 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>除細動器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>閉鎖式保育器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p> <p>診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等） メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器の不具合や健康被害等に関する院内外の情報について、医療機器安全管理責任者から必要に応じて病院長並びに医療安全管理委員会へ報告するとともに、院内への周知や対応を行う。</p>	